

# 自治の基本理念

- **市民の自治**  
市民は手を取りあい、力を合わせて地域社会の課題を自ら解決していきます。
- **市民の手による自治**  
市民は市民の福祉を実現するために市の運営に主体的にかかわっていきます。
- **市民のための自治**  
市は、自立した自治体として市民が暮らしやすい地域社会を実現するよう市を運営していきます。



かわさき丸の乗組員たち  
(川崎市の自治を担う主体)

かわさき丸の乗組員は、それぞれの役割をしっかりと果たしながら、安全な航海のために力を合わせていきます。

## かわさき丸の上では...

● 目標のためにはどう進めればよいか、乗組員みんなで話し合って進路を定めたり、計画を練っています。  
このようなことが“参加”にあたります。



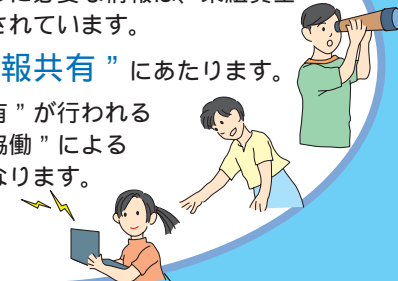
## かわさき丸の上では...

● 帆の上げ下げや船体の維持管理、乗組員のための料理づくりなど快適な航海を送るために必要な作業を、それぞれの役割に基づいて分担し協力し合っています。  
このようなことが“協働”にあたります。



## かわさき丸の上では...

● 安全に船を進めるために必要な情報は、乗組員全体に知らされ、共有されています。  
このようなことが“情報共有”にあたります。  
● このように“情報共有”が行われることは“参加”と“協働”による安全な航海の基礎になります。



活力と  
うるおいのある  
市民都市

## 自治運営の基本原則

### 情報共有の原則

● 市が持っている情報は市民の財産です。そのため市は、情報の適切な発信と管理を市民からゆだねられていると考えています。市民は、市が持っている情報にいつでもアクセスし、それを活用することによって、身の回りの課題を解決したり、自らの暮らしを豊かなものにすることができます。このことを“情報共有”の原則と位置づけます。また、この原則は市民の参加や協働の取り組みを広げるためにも必要なものです。

### 参加の原則

● 誰もが「暮らしやすい」と感じることのできる地域社会をつくるためには、市政に市民が主体的にかかわることが必要です。市民が話し合いの場に加わり、意見や提案をすることなどによって、市民の多様なニーズの中から課題に対する必要な解決方法を選択していく。これを“参加”の原則と位置づけます。

### 協働の原則

● 市民と市が暮らしやすい地域社会を築いていくために、それぞれの役割と責任のもとで、お互いを尊重し、対等な立場で、協力し合っていくことを“協働”の原則と位置づけます。市民も自らの発言と行動に責任をもつことが必要であり、これは参加の場合についてもいえるものです。